

令和元年度 日本平夢テラスの指定管理に係る外部評価委員会の評価結果について

令和元年 10 月 16 日
静岡県文化・観光部
観光交流局観光政策課

1 評価の趣旨

日本平山頂シンボル施設（愛称：日本平夢テラス）における指定管理者の平成 30 年度（平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の管理運営実績を客観的に評価し、より適正な管理運営や提供するサービスの向上に繋げていくため、外部評価委員会を実施した。

その評価結果は、84 点（100 点満点）であり、優れているとの評価であった。詳細は以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理の概要

（1）指定管理者

A S C 日本平グループ

代表企業 アクティオ株式会社

構成団体 静岡ビル保善株式会社

特定非営利活動法人コンベンション静岡

（2）指定管理期間

平成 30 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

3 評価項目と配点

評価項目	1人当たりの 持ち点	計 (5点×5人)
管理運営の基本方針	5点	25点
施設への来訪促進	5点	25点
適正な施設管理 (満足度向上、誘客活動、ラウンジ運営、自主事業、地域連携)	5点	25点
安定的な経営管理	5点	25点
計	20点	100点

5点「非常に優れている」

4点「やや優れている」

3点「標準」

2点「取組の見直しが必要」

1点「根本的な改善が必要」

4 委員

氏 名	職 名
奥村 昭博（委員長）	静岡県公立大学法人 静岡県立大学 副学長
久保田 隆	静岡市ホテル旅館協同組合 理事長
白鳥 三和子	税理士法人 静岡みらい 代表社員
築地 伸幸	公益財団法人 するが企画観光局 専務理事
中村 泰昌	一般社団法人 静岡県商工会議所連合会 専務理事

5 評価結果

評価項目	評価点
管理運営の基本方針	23点 / 25点
施設の来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携 20点 / 25点
適正な施設管理	19点 / 25点
安定的な経営管理	22点 / 25点
合 計	84点 / 100点

6 委員の主な意見

今回の評価対象期間は、開館初年度の約半年間であり、2年目以降の取組が重要である。

(1) 来館者対応に対する意見

- ・ 来館者数が64.4万人と目標（12.5万人）を大きく上回り、大変素晴らしい。
- ・ 来館者数が多く、安心・安全の確保が最優先になっているとのことであるが、来館者へのお声がけや展示物の説明等をもう少し充実させると良い。

(2) 更なる来訪促進

- ・ 今後の取組を検討するに当たり、個人・団体の別や来訪手段等の属性を把握するべきである。
- ・ 県外からの来館者、インバウンドの誘客も大変重要なので、引き続き観光団体や旅行会社等との連携を図っていただきたい。
- ・ 国宝である久能山東照宮との連携を大事にしていくと良い。
- ・ 夏季は、昼間の展望デッキでの滞在は負担が大きいため、夜の集客を促進する取組が必要である。
- ・ 様々な企画を行うこと、安心・安全に力を入れることは素晴らしいが、日本平夢テラスを作った本来の目的、発信したいことがぶれないよう、適正なブランディングが必要である。
- ・ 災害時等に備えて、閉館や一時休館をする基準等、具体的なBCPを策定するべきである。